

## アスリートサポートプロジェクトセンター成果報告

新潟医療福祉大学理学療法学科・佐藤成登志  
 新潟医療福祉大学理学療法学科・大西秀明  
 新潟医療福祉大学理学療法学科・亀尾徹  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・柵木聖也  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・山崎史恵  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・池田祐介  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・佐藤晶子  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・佐藤大輔  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・永野康治  
 新潟医療福祉大学健康スポーツ学科・高橋和将  
 新潟医療福祉大学理学療法学科・栗生田博子  
 新潟医療福祉大学理学療法学科・江玉睦明

## 【活動内容および成果報告】

アスリートサポートプロジェクトセンターは、学内アスリートに対するサポート行い、競技力の向上、障害予防・コンディショニング、外傷の応急処置、学生教育の充実を目的に設置された。現在、①学内アスリートに対するサポート活動、②各団体等へのサポート活動、③学生を対象とした教育システムの構築を中心に活動している。本発表では、これまでの活動報告および今後の活動について紹介したい。

①学内アスリートに対するサポート活動：センター研究員スタッフが各強化部にて外傷・障害を負った選手のサポートを行っている。サポートは、後述するコンディショニングルームおよび、各教員が学生から連絡を受けることで時間等を調整して行った。コンディショニングルームにおけるサポートは、のべ1049件に対応した。競技ごとの内訳は女子バスケットボールが297件で最も多く、陸上男子(193件)、陸上女子(181件)と続いた。医師の診察が必要となった際には学内もしくは新潟リハビリテーション病院にて診察を受ける体制をとり、競技復帰に向けたリハビリテーションの状況については、当センターのミーティング時に報告し、共通理解をした上でサポート活動を行った。

②各団体等へのサポート活動：大学内外の団体に対して大会帯同、メディカルチェック、傷害調査、外傷検診などを行っている。学外での活動としては、小学生野球大会における野球肘検診の補助や国際ユースサッカーにおける新潟県選抜の補助などを行った。男女バスケットボール部においては、年間の外傷・障害発生率の調査を行った。その結果、外傷・障害発生率は1000活動時間あたり、男子は1.95件、女子は、1.16件であった。部位は男女とも足関節外傷が最も多く、その他には膝、腰部・骨盤の外傷・障害が発生していた。女子の足関節捻挫発症については、足関節捻挫の既往有無が有意に関係していることも明らかとなった。こうした外傷・障害の発生率を明らかにすることは、その予防に取り組む上での基礎的な資料となる。

③学生を対象とした教育システムの構築：アスリートサポートを担う人材育成として、教員のサポート場面における見学・補助、メディカルチェックの補助、勉強会を行っている。勉強会については月1回教員が持ち回りで勉強会を開催し、アスリートサポートに必要な知識の定着をはかった。また、夏期および冬期に特別セミナーを開催し、外部より講師を招き、第一線で活躍されている理学療法士もしくはトレーナーから実技指導・講義を行った。

今後は、これまでの理学療法士、アスレティックトレーナーを中心としたリコンディショニングのサポート活動に加え、心理学、栄養学、トレーニング科学の専門家を加え、多方面からアスリートをサポートする体制を構築する。各部門は強化クラブの要望を調査し、要望に応じて部単位で各専門家がサポートに当たる。また、必要に応じて選手個別のサポートを行う。リコンディショニング部門においてもこれまで同様、外傷・障害からのリコンディショニング、外傷・障害予防へのアドバイスをを行う。部門間で情報を共有化し、リコンディショニング中に栄養管理や心理サポートが必要になるケースや、外傷後の復帰間近における強化トレーニングが必要になるケースに、多方面からサポートを行う。

また、サポート実践に伴うデータの蓄積が重要と考えられる。各部門(リコンディショニング、心理、栄養、トレーニング)への相談件数・および内容を記録し、本学におけるスポーツ障害・外傷の傾向や、各部門におけるサポートへの必要性を明確にし、より充実したサポートに結びつけていく予定である。スポーツ外傷・障害の発生状況についての調査も継続して行い、蓄積されたデータより、年度ごとの外傷・障害発生率の変動や、サポートの実施による予防効果の検証を行う。

本学においては、強化部を中心に各スポーツ種目にて多くの活躍が見られている。今後のさらなる躍進のために、アスリートサポートプロジェクトセンターでは、アスリートサポートの実践・研究の場として活動していく予定である。